

好きなこととできること

〇〇高中 金秀貞

皆さんは未来にどんな仕事をして、どんな人生をおくりたいですか？その将来の希望は何を理由に、どんな基準で選びますか？そして、将来の仕事を選ぶ時、重要なことは何ですか？好きなことをすること？それとも自分が持っている才能を生かすこと？

私は幼い時、絵を描くのが好きでした。美術の塾にも熱心に通って時間があればいつも絵を描くほど好きでした。小学校4年生の時までは画家という1つだけの目標をめざして、画家になった未来を想像したりしていました。でも悲しいことに私の絵の実力はあまり高くありませんでした。練習しても結果を出すことができませんでした。すなわち才能がないということを知ったのです。それで長年の夢だった画家という夢をあきらめてしまいました。

でも絵を描くことの次に何かを作ることが好きだった私に両親はパティシエという職業を教えてくださいました。見た目が美しくておいしいデザートが作れるパティシエという職業は、作ることも食べることも好きな私にぴったりの仕事だと思いました。優れた素質を持っているといえませんでした。こつこつと練習した結果、手先は器用になりました。そして職業にしてもいいと思えるようになりました。しかし、もっと練習が必要だと思いましたので、製菓の勉強をするために日本に留学したわけです。

私は好きなことを職業にするより、得意なことを職業にした方が良いという話を聞いたことがあります。好きなことが仕事になってしまうと、もう楽しむことができないし、好きでもうまくできなければやる気がなくなり、結局失敗につながるというのです。しかし、私はそうは思いません。職業を決める上で一番大事なことは好きなことを探すことだと思います。どんなことでも初めから上手にできることはないと思います。しかし、好きなことは見つけることができます。そして、見つけたいくつかの好きなことの中で練習と努力を通じて上手くできそうなものを探せば、自分にぴったりの職業を見つけることができると思います。

皆さんはどう思いますか？

ご清聴ありがとうございました。

(文章取自独立行政法人日本学生支援機構 JASSO 第45回日本語スピーチコンテスト入賞者
金秀貞スピーチ全文)